

官報

號外 昭和十五年三月七日

○第七十五回貴族院議事速記録第十七號

昭和十五年三月六日(水曜日)午前十時十八分開議

議事日程 第十七號

昭和十五年三月六日

午前十時開議

第一 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 職員健康保險特別會計法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第四 作業會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第五 造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第六 昭和十三年法律第五十二號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第七 外國爲替管理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 神宮關係特別都市計畫法案(政府提出) 第一讀會

第九 都市計畫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十 船員保險特別會計法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十一 船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十二 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十三 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十四 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十五 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十六 要塞地帶法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十七 獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十八 宇品港域軍事取締法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十九 要塞地帶法中改正法律案可決報告書

第二十 宇品港域軍事取締法中改正法律案可決報告書

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サセマス

○白木書記官朗讀

一昨四日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

家畜傳染病豫防法中改正法律案

軍用電氣通信法中改正法律案

牧野法中改正法律案

輸出毛織物取締法案

同日本院ニ於テ議決シタル議員長谷川尠夫君ニ係ル選舉爭訟ノ判決ハ即日其ノ謄本ヲ原告及被告ニ送達セリ

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル霧中大洋ニ於テノ船舶衝突豫防ニ關スル請願外六件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案可決報告書

昭和十三年度歲入歳出總決算、昭和十三年度各特別會計歲入歳出決算審査報告書

昭和十三年度國有財産増減總計算書審査報告書

同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

船員保險特別會計法案

船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、日程第二、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、日程第三、職員健康保險特別會計法案、日程第四、作業會計法中改正法律案、日程第五、造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案、日程第六、昭和十三年法律第五十二號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ六案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、櫻内大藏大臣

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

明治二十五年三月三十一日 第三號 郵便物認可

昭和十五年一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月二日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

昭和十五年一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和十五年一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外十六億五千五百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和十五年一般會計歲出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和十六年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ
第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案中別紙ノ通議院法第三十條ニ依リ修正ス

昭和十五年二月十日

内閣總理大臣 米内 光政
大藏大臣 櫻内 幸雄

第一條中「十六億五千五百萬圓」ヲ「十七億二千二百十萬圓」ニ修正ス

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月二日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正ス
「百四億三十萬圓」ヲ「百四十億七千四百二十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

昭和十二年法律第八十四號ハ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ナリ

職員健康保險特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月二日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

職員健康保險特別會計法案

第一條 職員健康保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險給付費、保健施設費、借入金ノ償還金及利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費、營業費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第三條 本會計ニ於テ決算上剩餘金ヲ生ズルトキハ之ヲ積立ツベシ
本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ借入ヲ爲スコトヲ得ル金額ハ保險料ヲ以テ保險給付費及保健施設費ヲ支辨スルニ不足スル金額ヲ限度トス

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルベシ

第六條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借

入ヲ爲シ又ハ國庫餘裕金ヲ繰替使用スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル一時借入金又ハ繰替金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第七條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調整シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第九條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ昭和十五年ヨリ之ヲ施行ス

作業會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月二日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

作業會計法中改正法律案

作業會計法中左ノ通改正ス
第二條第四項ヲ左ノ如ク改ム
海軍燃料廠据置運轉資本ハ六百萬圓トシ漸次一般會計ヨリ繰入ス

附則

本法ハ昭和十五年ヨリ之ヲ施行ス

造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月二日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他
ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要
スル經費ニ關スル法律案

造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ
建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル
經費ニ充用スル爲造幣局資金ノ内三百萬
圓ヲ限リ昭和十五年及昭和十六年度ニ
互リ一般會計ニ繰入ルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ繰入ルベキ金額ノ毎年
度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次之ヲ
翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年法律第五十三號中改正法律
案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十五年三月二日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

昭和十三年法律第五十三號中改正法律
案

昭和十三年法律第五十三號中左ノ通改正
ス

第一條第一項但書中「四百萬圓」ヲ「七百
萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

昭和十三年法律第五十三號ハ印刷局据
置運轉資本補足ニ關スル法律ナリ

(國務大臣櫻內幸雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(櫻內幸雄君) 只今議題トナリ

マシタ昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ
充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件ニ
付提出ノ理由ヲ説明致シマス、先ツ昭和十
五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債
發行ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、
昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ト致シマ
シテ、現行ノ震災善後公債法及道路公債法
ニ依ル公債ヲ發行致シマス外、歳入ノ不
足ヲ補填スル爲十六億五千五百萬圓ノ公債
ノ發行ヲ要スルノデアリマスルガ、是ガ爲
ニハ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマ
ス、尙從來ノ例ニ依レバ、昭和十五年度歳
出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、
結果ニナルデアラウト存ゼラレマスル處、
其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ、必ズシモ之
ヲ昭和十五年度内ニ於テ發行スルノ必要ハ
アリマセヌノデ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發
行シ得ルコトトスルノヲ適當ト認メマシテ、
本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、

次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律
案ニ付説明致シマス、支那事變ニ關スル經
費ニ付キマシテハ、第七十一回、第七十二回、
第七十三回及ビ第七十四回ノ各帝國議會ノ
協贊ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發
行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマス
ガ、事態ヲ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事費
ノ追加ヲ必要ト致シマスル處、其ノ所要財
源中七億八千六百十餘萬圓ニ付キマシテハ、
一般會計及各特別會計ヨリノ繰入金等ヲ以
テ充當シ、三十六億七千三百八十餘萬圓ニ
付キマシテハ、今日ノ場合、之ヲ公債財源
ニ依ルコトト致シマスル爲、昭和十二年法
律第八十四號中ノ公債發行限度ヲ増額スル
必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シ
マシタ次第デアリマス、次ニ職員健康保險
特別會計法案ニ付テ説明致シマス、職員健
康保險法ニ基キマシテ、政府ノ經營致シマ
スル職員健康保險事業ニ關スル歳入歳出ハ、
之ヲ一般會計ト區分シテ經理スルノヲ適當
ト認メマスル處、是ガ爲ニハ特別會計ヲ設
置スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ
提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ作業
會計法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、
海軍燃料廠ニ於ケル事業量ハ、近年著シク
増大致シマシタルノミナラズ、同廠ニ屬ス
ル諸設備ノ整備擴充ニ伴ヒマシテ、同廠ノ
從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、到
底作業ノ圓滑ナル遂行ヲ期シ得ザルコトト
相成リマスノデ、其ノ法定額ヲ六百萬圓ニ
増額致シマシテ、漸次一般會計ヨリ之ヲ繰
入ル、コトトスルノ必要ガアリマスル爲、
本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次
ニ造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ

建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經
費ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、補
助貨幣ノ需要増加ニ伴ヒマシテ、造幣局ノ
現在ノ設備能力ニ依リマシテハ、其ノ需要
ヲ充足スルコト困難トナツテ參リマシタノ
デ、是ガ製造能力ノ増大ヲ圖ル爲、昭和十
五年度及ビ昭和十六年度ニ互リ、同局東京
出張所ニ貨幣製造工場其ノ他ヲ新營擴張ス
ルコトト致シマシタノデアリマスルガ、其
ノ經費ニ充當スル爲、造幣局資金ノ内三百
萬圓ヲ拂出シテ、一般會計ニ繰入ル、等
ノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ
提出致シマシタ次第デアリマス、最後ニ昭
和十三年法律第五十三號中改正法律案ニ付
テ説明致シマス、印刷局ニ於ケル事業量
ハ、近年著シク増大致シマシタル關係上、
從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其
ノ事業遂行上時ニ困難ヲ伴ヒマスノデ、昭
和十三年法律第五十三號ニ規定スル借入金
ノ法定額ヲ七百萬圓ニ増額致シマシテ、据
置運轉資本ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ一時
補足シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスル
爲、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリ
マス、以上説明致シマシタ各法律案ニ付キ
マシテハ、何卒御審議ノ上速カニ御協贊ヲ
與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ
昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル
爲公債發行ニ關スル法律案外五件ハ、重要
ナル法案デアリマスガ故ニ、此ノ特別委員
ノ數ヲ十八名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長
ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戶澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(近藤書記官朗讀)

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件特別委員

- 公爵鷹司 信輔君 侯爵池田 宣政君
- 侯爵久我 通顯君 伯爵溝口 直亮君
- 子爵梅小路定行君 子爵西尾 忠方君
- 子爵綾小路 護君 塚本 清治君
- 男爵東郷 安君 男爵大藏 公望君
- 男爵水谷川忠麿君 西野 元君
- 土方 久徵君 堀 啓次郎君
- 吉村友之進君 野村 徳七君
- 風間八左衛門君 米原 章三君

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第七、外國爲替管理法中改正法律案、政府提出、第一讀會、櫻内大藏大臣

外國爲替管理法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十五年三月二日

- 内閣總理大臣 米内 光政
- 大藏大臣 櫻内 幸雄
- 拓務大臣 小磯 國昭

外國爲替管理法中改正法律案

外國爲替管理法中左ノ通改正ス

第一條第二號ヲ左ノ如ク改ム
二 通貨若ハ外國通貨ノ輸出若ハ輸入、金地金、金ノ合金若ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ輸出又ハ金貨幣ノ鑄造若ハ毀傷

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

(國務大臣櫻内幸雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今議題トナリマシタ外國爲替管理法中改正法律案ニ付テ提出ノ理由ヲ説明致シマス、近時海外ニ於テ本邦銀行券ノ相場ガ下落致シマシタ結果、輸出貨物代金ノ決済又ハ貿易外受取勘定ノ本邦向送金等ニ際シマシテ、本邦銀行券ヲ送付、又ハ携帶輸入スル者ガ増加シ、本邦外貨資金ノ獲得保全上憂慮スベキ事態ヲ生ジマシタノデ、其ノ抑制ヲ圖ル爲、外國爲替管理法ニ基ク大藏省令ニ依リ、昭和十四年七月一日以降本邦銀行券ノ輸入ヲ許可事項ト致シマシタノデアリマスガ、其ノ法的根據ニ付疑義ヲ挾ム向ガアリマスノデ、此ノ際外國爲替管理法上ノ根據ヲ明瞭ニ致シマスルト共ニ、通貨ニ關スル爲替管理法規ノ整備ヲ期スル爲、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御質疑ガナケレバ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(近藤書記官朗讀)

外國爲替管理法中改正法律案特別委員

- 侯爵前田 利爲君 子爵裏松 友光君
- 子爵牧野 康熙君 男爵山根 健男君
- 市來 乙彦君 米山 梅吉君
- 西野嘉右衛門君 磯野 庸幸君
- 江口 定條君

(國務大臣櫻内幸雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(櫻内幸雄君) 此ノ際一言訂正ヲサシテ戴キタイコトガアリマス、即チ赤字公債ヲ發行致シマスル第一條中ノ「十六億五千五百萬圓」トアリマスノヲ、「十七億二千二百十萬圓」ト修正ヲ致シテ戴キタイノデアリマス、是ハ追加豫算ガソレダケ増加致シタノデアリマスカラ、此ノ際之ヲ修正致シタイト存ジマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第八、神宮關係特別都市計畫法案、日程第九、都市計畫法中改正法律案、政府提出、第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、兒玉内務大臣

神宮關係特別都市計畫法案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十五年三月四日

- 内閣總理大臣 米内 光政
- 內務大臣 伯爵兒玉 秀雄

神宮關係特別都市計畫法案

神宮關係特別都市計畫法

第一條 本法ハ神宮ニ關係アル宇治山田都市計畫事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノニ之ヲ適用ス
前項ニ規定スル都市計畫事業ハ行政官廳之ヲ執行ス

第二條 前條ニ規定スル都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係公共團體ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル負擔ニ係ル費用ハ他ノ法令ノ適用ニ付テハ都市計畫法第六條第一項ノ規定ニ依リ負擔スル費用トス

第三條 土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ設計及換地處分ニ關スル事項竝ニ第四條第二項及第五條第一項ノ規定ニ依ル補償金額ハ土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム
土地區劃整理委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 土地區劃整理施行ノ爲必要アルトキハ換地豫定地ヲ指定シ相當ノ期間ヲ定メテ土地區劃整理施行地區内ニ存スル建物其ノ他ノ工作物又ハ木石等ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ建物其ノ他ノ工作物ノ占有者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メテ立退ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ移轉又ハ立退ニ因リテ所有者又ハ占有者ノ通常受クベキ損失ハ之ヲ補

償ス

第五條 土地區劃整理ノ施行ニ因リ土地區劃整理施行地區内ニ於ケル施行後ノ宅地ノ總面積ガ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割ヲ超エテ減少スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付ス前項ノ宅地トハ勅令ニ依リ公共ノ用ニ供スル土地ト定ムルモノ以外ノ土地ヲ謂フ

第六條 耕地整理法第二十五條ノ規定ハ第四條第二項及前條第一項ノ規定ニ依ル補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第七條 耕地整理法第三十條ノ規定ニ依ル清算金ヲ納付スベキ義務アル者ニ對シ同一土地區劃整理施行地區内ニ於テ第五條第一項ノ規定ニ依ル補償金ヲ交付スベキ場合ニ於テハ徵收スベキ清算金ニ之ヲ充ツルコトヲ得但シ其ノ補償金ガ同法第二十五條ノ規定ニ依リ供託スベキモノナルトキハ其ノ補償金ヲ交付スベキ土地ノ清算金ニ非ザレバ之ヲ充ツルコトヲ得ズ

第八條 都市計畫法第十三條第二項ノ規定ハ本法ニ依ル土地區劃整理ニ之ヲ準用ス

第九條 第四條第二項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十條 都市計畫法第二十五條及第二十

六條ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付爲シタル處分ニ之ヲ準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

都市計畫法中改正法律案

右
勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス
昭和十五年三月四日

內閣總理大臣 米内 光政
內務大臣 伯爵兒玉 秀雄

都市計畫法中改正法律案
都市計畫法中左ノ通改正ス

第一條中「保安」ノ下ニ「防空」ヲ加フ

第十一條ノ二 都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル公園、綠地若ハ廣場ノ境域内又ハ都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ノ區域内ニ於ケル建築物ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條ノ二中「建物アル宅地」ノ下ニ「又ハ墳墓地」ヲ加フ

第十五條ノ三 土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路、廣場、運河、公園其ノ他ノ公共ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國又ハ公共團體ノ所有地ニ之ヲ編入ス

第十六條中「公園」ノ下ニ「綠地」ヲ加フ

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

附則

附則

（國務大臣伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル）
○國務大臣（伯爵兒玉秀雄君） 只今議題ト相成リマシタ神宮關係特別都市計畫法案ニ付キマシテ、其ノ提案理由ノ概略ヲ御説明申上ゲマス、神宮ニ關シマスル施設ヲ整備シ、以テ神宮ノ尊嚴ヲ保持シ、皇國精神ノ昂揚ニ努メマスルコトハ、國體ノ本義ニ照シテ極メテ緊要ナルコトト存ズルノデアリマス、之ニ關シマシテハ、曩ニ貴衆兩院ヨリ建議ヲセラレマシタル次第モアリ、政府ニ於キマシテハ、神宮關係施設調査會ノ意見ヲ徵シ、今回神宮關係施設整備ニ關スル豫算ヲ提出致シマシテ御審議ヲ願フテ居ル次第デアリマス、右ノ施設中、都市計畫ニ關係致シマスルモノハ、之ヲ都市計畫事業ト致シテ内務大臣ニ於テ直接執行致シタイト存ジマスルノデ、茲ニ本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、其ノ内容ノ主ナル點ヲ申上ゲマスレバ、先ヅ本事業ノ特殊性ニ鑑ミマシテ、國ニ於テ直接執行スベキコトヲ明カニシ

（議長伯爵松平賴壽君議長席ニ著ク）
次ニ本事業ハ、其ノ性質上國ニ於テ費用ヲ負擔スベキモノト存ジマスルガ、一面、地元公共團體ト密接ナル關係ガアリマスルノデ、其ノ費用ノ一部分ヲ關係公共團體ニ分擔セシメ得ルノ規定ヲ設ケ、以テ事業執行ニ付協力セシメムスル次第デアリマス、又神宮宮域ノ擴張、參宮道路、廣場等ノ新設擴張ノ爲ニ、相當多クノ民家ノ移轉ヲ必要ト致シマスノデ、附近一帶ニ互リマシテ土地區劃整理ヲ行ヒ、環境ノ整備ヲ圖リタイト

存ジマスルガ、現行法ニ於キマシテハ、行政官廳ガ土地區劃整理ヲ施行致シマスル場合ノ規定ガ不十分ナデアリマスノデ、之ヲ補フト共ニ必要ナル規定ヲ設ケタル次第デアリマス、次ニ都市計畫法中改正法律案ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ノ概要ヲ御説明致シタイト思ヒマス、都市計畫法ハ、其ノ施行以來我が國都市ノ構築改善ニ付、相當ノ實績ヲ收メテ居ルノデアリマスガ、時勢ノ推移ト過去ノ實績トニ徵シマシテ、改正ヲ要スル點ガアリマスノデ、茲ニ本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、本改正法律案ノ主ナル事項ヲ申上ゲマス、先ヅ第一

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

一ハ、航空機ノ來襲ニ因ル禍害ヲ防止又ハ輕減スル爲、防空的都市計畫ノ具現ニ付特別ノ考慮ヲ拂フ必要ガアリマスノデ、之ヲ明カニ致シタル次第デアリマス、第二ニハ、最近ニ於ケル都市發展ノ情勢ニ照シ、都市民ノ保健増進並ニ都市防衛等ニ關シマスル施設ニ付遺憾ナカラシムルコトガ、最モ緊要ノコトト信ジマスノデ、新タニ綠地ニ關スル規定ヲ設ケ、尙公園、廣場等ト共ニ其ノ實現ヲ容易ナラシムル爲、制限規定ヲ加ヘタル次第デアリマス、第三ニハ、土地區劃整理施行ノ實際ニ鑑ミマシテ、其ノ圓滑適正ヲ期セムトスルモノデアリマシテ、都市計畫ト致シマシテ決定致シマシタル土地區劃整理ニ付キマシテハ、其ノ實施ヲ容易ナラシムルコトトシ、更ニ耕地整理法ノ準用ニ依ル不備ヲ補フガ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(伯耆松平賴壽君) 質疑ノ通告ガアリマシク、許可ヲ致シマス、關屋貞三郎君

アリマシテ、私ハ率直ニ申シマスルト、此ノ都市計畫法ニ於テ防空ト云フコトガナカッタト云フコトハ不思議デアアル、今度ノ改正ハ誠ニ結構デアリマスケレドモ、是ハ既ニ

ハ、矢張り農村問題ヲ考ヘナケレバナラス、農村問題ヲ本當ニ考ヘテ解決シヨウトスレバ、都市問題ヲ眞直クニ解決シテ行カナケレバナラスノデアリマシテ、互ニ表裏シテ

スルカト云フコトモ伺ヒタイノデアリマス、是ハ或ハ理想的ノ問題ニナルカモ知レマセヌガ、目指ス所ハ何處ニアルカト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、

○關屋貞三郎君 只今上程ニ相成リマシク二案ノ中、都市計畫法中改正案ニ付キマシテ、極メテ簡單ニ卑見ヲ述ベ、政府ノ御答ヲ得

マシ、現在ノ都市計畫法ヲ見マスルト、都市計畫ノ諸條件ト致シマシテ、只今モ申上

カ、廣イ意味ニ於キマシテハ國民ト申シテモ宜イト思ヒマスルガ、此ノ國民ノ精神生活、及ビ物質即チ經濟生活ノ兩方面カラ此

從來伺ッテ居ル所ニ依リマスルト、動モスルト大都市ト云フコトヲ非常ニ誇ニシテ

付キマシテ特別ニ研究ヲ致シテ居ル者デモナイノデアリマスルガ、平素此ノ問題ニ付テハ相當關心ヲ持チ、殊ニ關東大震災ノ

ハ如何様ニモ擴ゲルコトハ出來ルト思ヒマスルガ、此ノ列記ガ甚ダ不十分デアルト云フ感ヲ抱クノデアリマス、衛生ト申セバ、

コトハ出來ナイデアラウト云フヤウナ感じヲ持ツノデアリマス、從來ノ考ヘ方ハ、ドウ

リマス、我々ガ小學校ナドニ參リマシテ、小學校ノ校長ニ會ヒマシテ、小學校ノ模様ヲ聽キマスルト、校長ハ自分ノ學校ノ生徒

ニ多少關係ヲ致シマシタト云フヤウナコトカラ致シマシテ、聊カ質疑ヲ試ミタイト思

フ感ヲ抱クノデアリマス、衛生ト申セバ、或ハ廣イ意味ニ於テ保健ト云フヤウナコト

モ斯ウ云フ點ニ於テ、御考ニナッテ居ルニハ違ヒアリマセヌガ、動モスレバ唯交通トカ

數ハ是レノデアアル、千何百人デアアル、或ハ何千人デアアル、從ッテ學級ハ何十學級アル

急務ハ所謂事變ノ處理デアリマシテ、直接之ニ關係ノナイ問題ニ付キマシテハ、私自

身少クトモ成ルベク發言致シタクナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ都市計畫法

テモ、結局ハ保健ト云フコトニモナルデアリマセウシ、體力向上ニモナルデアラウト

ト云フコトヲ非常ニ誇トシテ居ルヤウナ人達ガアルコトヲ少クトモ私ハ頗ル訝カシク

ト私ハ思フノデアリマス、現ニ今回ノ改正ニ於キマシテモ、防空ト云フモノヲ加

フコトハナカカ、ムツカシイ、又道德ノ類廢ト云フモノモアリマス、又思想問題ト云

ノ向上發展ト云フ廣イ意味、即チ精神生活及ビ經濟生活、此ノ兩方ヲ含ムノデアリマ

ルカ、又人口ノ密集ニ伴ヒマシテ、各種ノ罪惡、風紀、衛生、保健、治安等ニドウ云

ヘテアルノデアリマス、都市計畫法ノ第一條ニハ、「交通、衛生、保安、經濟等ニ

フモノモ起ルノデアリマシテ、サウ云フ方面モ此ノ都市計畫ノ中ニ織リ込ンデ考ヘテ

付キマシテ、更ニ大ニ加味スルノ必要ガアルノデアリカト云フコトヲ政府ニ第一

ニ伺ヒタイノデアリマス、更ニ之ヲ別ノ觀點カラ寧ろ端的ニ申シマスルト云フト、大

ト云フコトヲ、都市計畫法ノ目的ト致シテ居ルノデアリマシテ、從來ハ防空ト云フ

市住民ノ生活、廣イ意味ニ於キマシテハ、一般國民ノ生活ノ向上ト云フコトニナラナ

ケレバナラスノデヤナイカ、農村問題スラモ矢張り都市問題ト相表裏スベキモノデア

リマシテ、都市問題ヲ十分ニ解決スルノニ

セラレマシタノハ昭和十二年ノ四月デアリマス、此ノ防空法ニ依リマシテ、防空及防

空計畫ノドウ云フモノデアアルカト云フコトガ明カニサレテ居ルノデアリマス、且事變

ハ既ニ三年ニ垂ントシテ居ルヤウナ今日デア

リマシテ、都市問題ヲ十分ニ解決スルノニ

ハ既ニ三年ニ垂ントシテ居ルヤウナ今日デア

リマシテ、都市問題ヲ十分ニ解決スルノニ

リマシテ、都市問題ヲ十分ニ解決スルノニ

リマシテ、都市問題ヲ十分ニ解決スルノニ

善カレ悪カレハ現狀デアアルノデアアル、從ヒマシテ白紙ニ線ヲ引クヤウナ自由ナ計畫ハ出來ナイト云フコトハ、無論我々モ認メテ居ルノデアリマシテ、徒ニ中都市、小都市ヲ推獎スルノデアリナイノデアリマスルガ、唯從來ノ如ク大都市ヲ自然ノ發達ニ委シテ、カウシテ更ニ是ニ對シテ何等考慮シナイ、甚ダシキニ至ツテハ益、膨脹スルコトヲ誇トシテ居ルト云フガ如キハ如何ナモノデアリマセウカト思フノデアリマス、ドウシテモ都市計畫ノ健全ヲ圖ルガ爲ニハ、何等カ基礎的ノ計畫ヲ立テル必要ガアルデアラウト思フノデアリマス、今回ノ改正ノ如キモ、其ノ御趣旨ニ依ツテ其ノ一歩ヲ進メタモノトハ思フノデアリマスルガ、從來ハ少クトモサウ云フコトニ付キマシテ、私共ガ考ヘテ居ル程ニハ、政府當局者モ或ハ一般ノ方方モ考ヘテ居ラスヤウナ氣ガ致スノデアリマス、關東大震災ノ際ニ、復興院ガ出來マシテ、各省カラ或ハ民間カラモ參與ナリ委員ナリガ出來テ、評議ヲ致シタノデアリマス、私共モ過ツテ其ノ中ノ一人ニナツタノデアリマスルガ、其ノ東京ノ復興ノ際ニデス、申上ゲル迄モナク東京ハ帝都デアリ、且政治都市デアアル、サウシテ産業ノ都市デモアルノデアリ、サウ云フヤウナ諸條件ヲ持ツテ居ル所デアリマスカラ、自ラニ適應スル所ノ復興ガナケレバナラス、復興ノ計畫ガナケレバナラスト思フノデアリマス、勿論復興院モ其ノ積リテ計畫ヲ御立テニナツタデアラウト思ヒマスルガ、當時ハマダ砲兵工廠モアリ、或ハ其ノ他例ヘバ大藏省ノ方

ノ關係カラ申シマスルト煙草ノ工場ガ東京内ニ三箇所モアツタノデアリマス、勿論官立ノ諸學校モアツタノデアリマス、政府ノ施設ト致シマシテマダ其ノ外ニモ澤山アツタト思ヒマスガ、私共ハ當時果シテ砲兵工廠ナリ、或ハ煙草專賣局ノ工場ト云フヤウナモノガ、東京ノ真中ニ無クチヤナラスモノデアアルカドウカト云フコトヲ疑ヒマシタ、當時ノ政府當局ノ方ニモ御意見ヲ承ツタノデアリマスルガ、餘リハツキリシタ答ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、其ノ後砲兵工廠ナリ、或ハ陸軍士官學校ノヤウナモノハ、軍部ノ英斷ニ依リマシテ地方ニ移ツタノデアリマスルガ、マダノ東京デナケレバナラスト云フヤウナモノガ……東京ニ置カナケレバナラストソレ程ニ思ヘナイモノガ、隨分多イデアラウト思フノデアリマス、勿論帝國大學ノ如キ、隨分其ノ當時問題ニナツタヤウデアリマスルガ、色々ナ沿革モアリ、又経緯モアリ、殊ニ當時ハ復興ニ對スル經費ヲ非常ニ要シタノデアリマスカラ、是等ハ已ムヲ得ナカッタトハ思ヒマスルガ、到頭現狀ノ儘ニ殘ツテ居ルヤウナ始末デアアルノデアリマス、デ要スルニ私ハ其ノ當時、甚ダ經驗ノ無イ者デハアリマシタガ、此ノ復興ト云フコトニ付テ、所謂都市計畫ト云フヤウナコトニ付テ聊カ疑ヲ懷キマシテ、何トカ此ノ東京ノ復興、即チ帝都デアリ、政治都市デアリ、産業都市デアアル此ノ東京ノ復興ト云フコトニ付テ考フベキデハナイカト云フヤウナコトヲ思ヒマシテ、當時聊カ卑見ヲ述ベタノデアリマ

ス、不幸ニシテ當時ハ復興ニ忙シイノデアリ、又財政ノ關係モアリ、且又私ノ主張モ餘リ強クナカッタノニモ因リマセウガ、一向一般ノ其ノ時ニ列席シテ居ル諸君ノ御贊同ヲ得ナカッタノデアリマスガ、其ノ後、都市計畫ノ研究ニ内務省カラ行カレタ方ガ歸ツテ來ラレマシテ、其ノ當時ノ記録等ヲ御覽ニナリマシテ、大變私共ノ意見ニ共鳴セラレタト云フヤウナコトヲ、後デ聞キマシテ非常ニ喜ンダコトガアリマスルガ、兎ニ角私ハ政府ノ方ニ於キマシテモ、民間ノ方ニ於キマシテモ、先ヅ自ラ都市計畫ノ意義ニ付テ深く想ヲ致ス必要ガアルト思フノデアリマス、今日ニ於キマシテモ、此ノ都會ノ真中ニ官公私立ノ、初等若シクハ中等ノ學校ハ別ト致シマシテ、大學ノヤウナモノガ澤山アルト云フコトハ、是ハ或點ニ於テハ必要デアリ、便利デモアリマスガ、或點ニ於テハ教育上如何ナモノデアラウカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、又單リ東京ノミナラズ、各種ノ工場ノヤウモノガ一ツノ地方ニ集ルト云フコトモ、是ガ果シテ大局カラ考ヘマシテ適當ナモノデアアルカドウデアラウカ、防空ト云フヤウナコトカラ考ヘマシタナラバ、無論ハ不利益デアルト云フコトハ何人モ疑ハナイノデアリマス、其ノ他前ニ申上ゲマシタ色々ナ諸條件カラ申シマシテ、私ハ此ノ趨勢ハ必ズシモ喜ブベキコトデハナイト思フノデアリマ

ヤウナ所ニ働キ、又家庭ニ歸リマシテモ殆ド日光モ空氣モ十分デナイヤウナ所ニ起臥スルト云フ勞働者ノ體力ト云フモノガ、果シテドウ云フ風ニ推移シテ行クデアラウカト云フコトヲ考ヘマスルト、私ハ國家ノ爲ニ深憂ニ堪ヘナイノデアリマス、平時ニアリマシテモ、戰時ニアリマシテモ國民體力ノ問題ハ非常ニ必要デアリマシテ、結局國家ノ隆替ニ關係スルノデアリマス、一時大變經濟的ニ繁榮ヲ致シマシテモ、萬一體力ガ低下致シマシタヤウナ場合ニハ、強兵、強イ兵隊ト云フモノハ到底得ルコトハ出來ナイノデアリマシテ、結局心身共ニ健全デアツテこそ、初メテ眞ノ富國強兵ガ出來ルモノデアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ考カラ申シマスルト、都市計畫ハ唯内務省ノ方ニばかり御任セニナツテ居ラナイデ、關係各省ハ勿論、殊ニ軍部、厚生、文部ト云フヤウナ方面ニ於キマシテモ、大イニ關心ヲ御持チニナルト云フコトガ最モ望マシイコトデアリ、且又ソレデナケレバ本當ノ都市計畫ハ出來ナイモノデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマ

ス、近來國土計畫ト云フ言葉ガ使ハレテ居ルノデアリマシテ、現ニ企畫院ノ如キハサウ云フ方面ニ於テ御調査ニ著手シテオイデニナルト云フヤウナコトモ承ツテ居ルノデアリマス、其ノ目的トスル所ハ、國民生活ノ向上、即チ物質的及び精神的デナケレバナリマセウガ、國民生活ノ向上、健康トカ或ハ健康衛生トカ、文化施設トカ、公共施設トカ云フヤウナモノモ、無論此ノ中ニ含

ムモノデアラウト思フノデアリマスガ、國民生活ノ向上、産業ノ發展、言ヒ換ヘレバ生産力ノ擴充デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ國家ノ防衛、國土ノ防衛ト云フヤウナコトヲ、此ノ國土計畫ノ目的ニ致シテ居ルヤウデアリマス、又諸外國ニ於キマシテハ既ニ已ニサウ云フ計畫ヲ立テラレテ居ルノデアリマシテ、殊ニ「ドイツ」「ソ聯」等ニ於キマシテハ參考ニナルコトガ少クナイト云フコトデアリマス、要スルニ是ハ國家全體ノ上カラ考ヘマシテ、單ニ一地方ノ地方計畫ト云フコトデナクシテ、國土全體カラ考ヘテ一定ノ計畫ヲ立ツテ、サウシテ或種ノ矢張り權力ヲ以テ統制ヲ行ヒ其ノ目的ヲ達成セムトスルモノデアリマス、併シナガラ私ハ、我が國ハ「ドイツ」「ソ聯」ハ違フノデアリマスカラ、如何ニ「ドイツ」アタリノ法制ガ宜シクアリマシテモ、直チニ其ノ儘之ヲ以テ我が國ニ移スト云フコトハ出來ナイ、其ノ長所ハ採リ短所ハ棄テナケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ我が國ノ國情ニ從ヒ、歴史ニ鑑ミ、現在及ビ將來ノ見透シヲ著ケマシテ、都市其ノモノニ對シテ、又農村トノ關係モ考慮致シマシテ、即チ國家全體ノ考カラ致シマシテ、國家國民ノ安全、發展、向上ト云フコトニ寄與シテコソ始メテ本當ノ都市ノ計畫デアラウト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ内務省ハ勿論、各省、或ハ企畫院等ニ於キマシテモ段々御考ニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、私ノ申上ゲマシタコトニ付キマシテ政府ノ御所見ヲ承リタイト思フノ

デアリマス、實ハ少シバカリ諸外國ノ事例等モ調べテ見マシタケレドモ、是ハ私ガ申上ゲルヨリモ、寧ロ内務省ニ於テ十分ノ御調ガアルサウデアリマシテ、私ハ時間ヲ省略スル爲ニ此ノ事ハ詳シク申上ゲル必要ハナイト思フノデアリマス、唯私ガ都市計畫ニ付テ殊ニ茲ニ御注意ヲ願ヒタイノハ、是ハ勿論政府ニ於テモ御考ニナツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、矢張り此ノ都市計畫ナルモノハ、地方々々ニ依ツテ其ノ趣ヲ異ニシテ行ナケレバナラヌノデアアル、例ヘバ東京ハ帝都デアリ、政治都市デアアル、又産業、經濟、教育、文化ノ都市デアアルノデアリマス、大阪ハ主トシテ産業、經濟ノ都市デアアル、京都ハ舊都デアアル、又山紫水明ノ地デアリマシテ、外國カラ觀光客ガ澤山參ルコトデアリマスカラ、勿論産業、經濟ヲ度外視スルコトハ出來マセヌケレドモ、自ラ他ト違フ特色ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又地方ノ中小都市ニ致シマシテモ、或ハ工業中心ノ都市モアリマシテ、或ハ農村ヲ周圍ニ持ツテ居リマシテサウシテ其處ノ物資ノ集散地トナツテ居ル所或ハ地方文化ノ中心トナツテ居ルヤウナ都市モアルノデアリマシテ、サウ云フ各特色ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ各都市ニ付テハ、適當ナ斟酌ヲ加ヘテ適切ナ計畫ヲシテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、申上ゲル迄モナク今々長期建設ノ途上ニアリマシテ、須ク國本ヲ培ヒ、國力ヲ養ヒ、國民生活ノ向上發展ヲ期スベキ秋デアアルノデアリマシテ、都市計畫ノ問題モ、矢張り

斯ウ云フ點ニ於テ最モ重要ナルモノデアアルト云フコトヲ私ハ深く考ヘルノデアリマス、各方面ニ觸レマシテ極メテ蕪雜ナコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、之ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

(國務大臣伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 只今關屋君ヨリ、都市計畫ニ關係致シマシテ帝都復興當時ニ於キマスル御經驗、竝ニ其ノ後ノ御研究ノ結果ト致シマシテ都市計畫法ニ對シマスル御意見竝ニ國土計畫ニ觸レマシタル御高見ヲ拜聽致シマシテ、私ハ大體ニ於テ同感ノ意ヲ表スルモノデアリマス、近時東京大阪等大都市ガ無制限ニ膨脹ヲ致シマシテ、其ノ結果ト致シマシテ、只今御述ニナリマシタル通り市民ノ保健上ヨリ見マシテモ、亦風紀上ヨリ見マシテモ、思想上ヨリ見マシテモ、茲ニ幾多ノ弊害ガ醸サレツ、アルノ現狀ハ、茲ニ改メテ申上ゲモナイノデアリマスガ、殊ニ昨今ノ時局ニ適應致シマシテ、防空上ノ設備ニ付テ缺クル所ノアルコトモ亦御説ノ通りデアアルノデアリマ合ニ於キマシテ、最モ重キヲ置キマシタル點ハ、防空ノ施設ト國民保健ノ保持ニアルノデアリマス、綠地ヲ設ケテ、從來ノ公園以外ニ自然ノ公園ヲ各地ニ設ケマシテ、一面ニ於テハ防空、一面ニ於テハ市民ノ保健ノ向上ヲ圖ルト云フ事柄ハ、最モ緊切ナコトト考ヘマシテ、今回都市計畫法ノ改正ノ一要素ト成シタノデアリマス、而シテ只今御述ニナリマシタル通りニ、都市計畫法

ノ完璧ヲ期シマスル爲ニハ、單リ保健其ノ他ノ問題ニ止ラズ、風紀上、思想上、殊ニ廣義ノ國民生活ノ發展ノ上ニ重キヲ置キマシテ、農村ノ問題ヲモ之ガ對象ト致シマシテ、之ヲ計畫スルコトハ最モ必要ナルコトト感ジテ居ルノデアリマス、而シテ今日ノ如ク大都市ガドン／＼發達ヲ致シテ參リマシタル場合ニ於キマシテハ、此ノ大都市ニ於キマスル弊害ヲ除去致シマシテ、適當ニ之ヲ計畫ヲ致シ、又中小都市ノ健全ナル發展ヲ促スト云フコトハ、最モ今日ニ於テ意ヲ留メナケレバナラヌ點ト考ヘテ居リマスノデアリマス、併シ此ノ問題ヲ解決致シマスルノニハ、單リ都市計畫法ノミヲ以テ其ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマス、如何ニ致シマシテモ、此ノ大都市及ビ其ノ周圍ヲ含ミマスル所ノ地方ヲ對象ト致シマシテ、都市農村ノ人口ノ適切ナル配布、土地ノ合理ノ利用、産業ノ適當ナル分布、竝ニ教育及思想上ノ問題ヲモ考慮致シマシテ、之ヲ綜合的ニ地方的ノ計畫ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、目下御審議中ノ豫算ノ中ニ於キマシテ、内務省ト致シマシテ地方計畫確立ニ關シマスル調査費ヲ計上シテ、目下御審議ヲ仰ギツ、アルノデアリマス、此ノ都市計畫法ノ實施ヲ致シマスル上ニ於キマシテハ、各般ノ問題ニ聯關ヲ致シマスルガ故ニ、單リ内務省ノミノ仕事トシテ之ヲ實行スルコトハ不可能デアリマセウ、各省竝ニ民間ニ於キマスル有力者ト協議ヲ致シマシテ、而シテ此ノ地方計畫ノ調査ヲ致シ、而

シテ一定ノ計畫ヲ立ツルノ必要ガアリト感
ジテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ地
方計畫ノ完璧ヲ期スル場合ニ於キマシテ
モ、尙一層此ノ問題ヲ擴大シテ、我が國全
體ヲ對象トシテ考慮スル必要ガアルノデア
リマス、即チ只今關屋君ガ述べラレマシタ
ル所ノ國土計畫ヲ茲ニ確立スルノ必要ヲ痛
感スル者デアリマス、都市ノ健全ナル發展
ヲ促ス爲ニハ、都市ヲ中心ト致シマシタル
各般ノ要素ヲ之ニ調整スル必要ガアリマス、
又都市ノ性質、殊ニ歴史的關係、地理的關
係ヲ考ヘマシテ、各、其ノ特色ヲ發揮スベ
ク計畫スル必要モアリマス、又之ニ伴ヒ
マシテ、一般ニ農村ト都市トノ關係ヲモ整
調スル必要ガアルノデアリマス、是等ノ點
ヲ考慮致シマシテ、國全體ノ計畫、即チ國
土計畫ヲ立テマスルコトハ、更ニ一層困難
ナル事情ガ茲ニ存在スルノデアリマス、ソ
レ故ニ差當リ地方計畫ヲ以チマシテ、國土
計畫ノ一端ト致シマシテ、之ガ調査ヲ致シ、
而シテ之ガ計畫ヲ立テ、更ニ進ンデ國土計
畫ニ及シタイト政府ニ於テハ考ヘテ居ル次
第デアリマス、只今御話ヲ承リマシタル通
リ、國土計畫ヲスル上ニ於テモ、我が國ハ
我が國特有ノ事情ガアルノデアアルカラ、其
ノ特色ヲ發揮スベク注意シナケレバナラス
ト云フ御注意ニ對シテモ、私ハ同感ノ意ヲ
表スル者デアリマス、大體ニ於キマシテ只
今關屋君ノ述べラレマシタル都市計畫竝ニ
國土計畫ニ對スル御意見ニ對シテハ御同意
ヲ申上ゲタイト思ヒマス

〔政府委員一松定吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一松定吉君) 只今關屋君ヨ
リ、都市計畫法中改正案ノ提出セラレマシ
タルニ關シマシテ該博ナル御質問ガアリマ
シテ、私共非常ニ參考トスル所ノ多クカッタ
トヲ感謝致スノデアリマスガ、此ノ點ニ關
シマシテハ既ニ内務大臣カラ十分ナル御答
ガアリマシタノデ、更ニ私ヨリ蛇足ヲ加フ
ルノ必要ハナイト考ヘマスケレドモ、御質
問ノ中ニ、體力向上ト云フ點ニ重點ヲ置カ
レタヤウニ拜聽致シマシタノデ、此ノ點ニ
關シテ少シク所見ヲ申上ゲマシテ御答ト致
シタイトデアリマス、御話ノ如ク都市計畫
法ノ第一條ニハ交通、衛生、保安云々ト云
フ規定ガゴザイマシテ、體力ト云フ點ハ衛
生ト云フ文字ニ含マレテ居ルコトハ勿論デ
ゴザイマスガ、御意見ノ如ク、衛生ト云フ
二字ダケデハドウモ消極的ニ流レテ居ルヤ
ウニアルノデ、今日我が國ノ現狀カラ見レ
バ、今一層體力ノ向上發展ヲ圖ル必要ガア
ルデハナイカト云フ御意見ハ尤モノ御意見
デアルト考ヘルノデアリマス、衛生ト云フ
文字デハ幾分消極的ノヤウニ私共モ考ヘテ
居ルノデゴザイマスガ、此ノ都市計畫法ノ
改正案中ニ現レテ居リマス公園、綠地、廣
場ノ區域内ニ於テ、斯クノ如キ文字ヲ用ヒ
マシテ、大イニ體力ノ發展ニ貢獻スル
所アラシメ、建築物ノ制限ニ關スル法規ヲ
設定致シマシテ、色々ナ空氣ヲ惡クシタリ
スルガ如キ、例ヘバ帝都ノ本所、深川ニ於
ケル空中ノ煤煙ノ防止トカ、或ハ大阪ニ於
ケル大正區、港區方面ニ於ケル煤煙ノ防止
空中ノ淨化ト云フガ如キコトモ大イニ考ヘ

ナケレバナラスコトデアルト私共ハ思ッテ居
ルノデアリマス、此ノ衛生ト云フ文字ダケ
デハドウモ消極的ニ流レテ居ルヤウナ感ジ
ヲ致スノデアリマシテ、此ノ點ニ關シマス
ル御質問ハ御尤デアルト拜承致シマス、何
レ是等ノ點ニ關シマシテハ、關係方面ト十分
ナル折衝ヲ盡シマシテ、萬遺憾ナキヲ期シ
タイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、左様
御諒承ヲ願ヒタイトデアリマス

○關屋貞三郎君 簡單デゴザイマスカラ、
此ノ席カラ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマ
ス

○關屋貞三郎君 只今内務大臣及厚生政務
次官カラ、大體私ノ申上ゲマシタ所ト、政
府ニ於キマシテモ同ジヤウナ御意見デア
ルト云フコトヲ承リマシテ、極メテ満足致シ
タ次第デアリマス、ドウカ此ノ問題ハ段々
申上ゲマシタヤウナ譯デアリマスカラ、政
府ノ國策ト致シマシテモ十二分ノ御檢討ヲ
願ヒマシテ、殊ニ段々各地方ニ於テ市ニナ
リマスルヤウナ所モ少クナイノデアリマス
ルカラ、サウ云フ方面ニ於キマシテハ適當
ナ御處置ヲ願ヒタイト云フコトヲ申述ベマ
シテ、私ノ質疑ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 他ニ御質疑ガナ
ケレバ、兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サ
セマス

〔佐藤書記官朗讀〕
神宮關係特別都市計畫法案外一件特別委
員
公爵岩倉 具榮君 關屋貞三郎君

子爵曾我 祐邦君 河井 彌八君
川村 竹治君 男爵井田 馨楠君
男爵山川 建君 岡田 文次君
鈴木 幸作君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十、船員
保險特別會計法案、日程第十一、船員保險
事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關
涉ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會、是等ノ二案ヲ一括致シマシテ議
題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス、木村大藏政務次官

船員保險特別會計法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月五日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
船員保險特別會計法案
船員保險特別會計法
第一條 船員保險事業ノ會計ハ之ヲ特別
トシ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險
ノ事業ノ歲入歲出竝ニ關東州、朝鮮及
臺灣ニ於テ爲サルル當該地域以外ノ地
域ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歲入歲出
ハ前項ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ定ムル所ニ依
リ之ヲ夫々關東局、朝鮮總督府及臺灣
總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムルコ

トヲ得

第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリノ受入金、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ヨリノ受入金、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ保險給付費、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ヘノ繰入金、借入金ノ償還金及利子、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第三條 本會計ニ於ケル歳入總額ノ歳出總額ニ超過スル金額ヘ之ヲ積立ツベシ
本會計ノ歳計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ於テ保險給付費並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ繰入ルル金額ヲ支辨スル爲メ要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルベシ

第六條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保用スルコトヲ得
有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第七條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ
第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月五日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平頼壽殿

船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案

第一條 内地、關東州、朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル船員保險ニ於テ療養ノ給付及傷病手当金ヲ除クノ外保險給付ヲ爲シタル場合被保險者タリシ者ガ内地、關東州、朝鮮及臺灣ノ中ニ以上ノ地域ニ於ケル船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ保險給付ニ要スル費用ニ付國庫ノ負擔スル金額ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一般會計並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ之ヲ分擔ス

第二條 船員保險特別會計ハ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於テ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ニ付療養ノ給付及傷病手当金ノ支給ニ要シタル費用ニ相當スル金額並ニ其ノ他ノ保險給付ニ要シタル費用ノ五分ノ四ニ相當スル金額ヲ其ノ各特別會計ニ繰入ルルコトヲ得關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ノ勅令ヲ以テ定ムル支出金ノ額ニ相當スル金額ニ付亦同ジ

第三條 關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ハ夫々關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ保險料ノ調定濟歳入額ニ相當スル金額、勅令ヲ以テ定ムル收入ノ額ニ相當スル金額並ニ船員保險特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スベキ金額ヲ船員保險特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計相互間ニ於テハ當該特別會計ガ他ノ特別會計ニ於テ保險給付ニ要シタル費用ニ關シ第一條ノ規定ニ依リ分擔スベキ金額ヲ其ノ特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス
〔政府委員 木村正義君演壇ニ登ル〕

○政府委員(木村正義君) 只今議題トナリマシタ船員保險特別會計法案外一件ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、先ツ船員保險特別會計法案ニ付テ申上ゲマス、船員保險法ニ基キマシテ政府ノ經營致シマスル船員保險事業ニ關スル歳入歳出ハ、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計ニ屬セシメマスルモノヲ除クノ外、之ヲ他ノ會計ト區分シテ經理スルヲ適當ト認メマスル處、是ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマシノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案ニ付テ説明申上ゲマス、船員保險事業ノ經營ニ伴ヒマシテ、一般會計並ニ關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計間ニ於テ、國庫負擔金ノ分擔ヲ爲スノ必要ガアリマスルト、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計間ニ於テ、相互ニ繰入金ヲ爲スノ必要ガアリマスル爲ニ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上説明致シマシタ各法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上リマシタ船員保險特別會計法案外一件ハ、是亦重要ナル法案デアリマスルガ故ニ、此ノ特別委員ノ數ヲ十五名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成
○議長(伯爵松平頼壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナシト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス
〔佐藤書記官朗讀〕

- 船員保險特別會計法案外一件特別委員
- 公爵桂 廣太郎君 侯爵大隈 信常君
 - 伯爵德川 宗敬君 子爵秋元 春朝君
 - 伯爵松平 忠壽君 子爵上原七之助君
 - 宇佐美勝夫君 田口 駒一君
 - 伯爵渡邊 汀君 大橋 八郎君
 - 男爵近藤 滋彌君 男爵深尾隆太郎君
 - 青木 周三君 平尾 喜一君
 - 栗林 徳一君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十二、臺灣事業公債法中改正法律案、日程第十三、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案、日程第十四、朝鮮事業公債法中改正法律案、日程第十五、臺灣私設鐵道補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ四案ヲ一括致シマシテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、木村大藏政務次官

臺灣事業公債法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月五日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
臺灣事業公債法中改正法律案
臺灣事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「一億七千二百九十萬圓」ヲ「一億八千八百九十萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月五日
衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案
臺灣官設鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス
第二條 臺灣官設鐵道用品資金ハ二百萬圓トシ漸次臺灣總督府特別會計ヨリ繰入ス
第三條中「此ノ場合ニ於テハ前金拂立概算渡ヲ爲スコトヲ得」ヲ削ル
附則
本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮事業公債法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月五日
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
朝鮮事業公債法中改正法律案
朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「十億六千六百十萬圓」ヲ「十三億三千六百萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十五年三月五日
衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案
臺灣私設鐵道補助法中左ノ通改正ス
第一條第二項中「五年」ヲ「十年」ニ改ム
第一條ノ二 前條ノ補助金ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合ニ相當スル金額ヲ限度トス但シ每營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受ケル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ各現在ノ補助期間満了ノ日ノ屬スル營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

〔政府委員木村正義君演壇ニ登ル〕
○政府委員(木村正義君) 只今議題トナリマシタ臺灣事業公債法中改正法律案外二件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シマス、先ツ臺灣事業公債法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、臺灣總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費鐵道建設費ニ追加致シマシタル高雄港臨港線及新高港臨港線建設工事ニ要スル經費九百四十八萬圓、竝ニ既定繼續費臺北及高雄驛改良費ヲ改稱シテ停車場改良費トシ、右繼續費ニ追加致シマシタル南部操車場設置費及新竹驛、新營驛及花蓮港驛改良ニ要スル經費六百八十四萬圓、合計千六百三十二萬圓ノ内、千六百萬圓ハ同特別會計敷計ノ現情竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ガ財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシタルニ依リ、現行債法ノ公債發行限度ヲ増加スルニ必要ガアリマス、次ニ臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、臺灣ニ於ケル官設鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、臺灣官設鐵道用品資金特別會計ニ於ケル歳入歳出モ亦著シク増加致シマシタル結果、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計本來ノ機能ヲ發揮スルコト困難トナルニ至ルノ虞アル狀況ナルニ顧ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ二百萬圓ニ増額致シマスル等ノ必要ガアリマス、次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費鐵道建設及改良費、道路修築改良費、港灣修築改良費、及送電施設費ノ追加額等二億九千五百十餘萬圓中、二億八千六百九十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計ノ現情竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ガ財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシタルニ依リ、現行朝鮮事業公債法ノ公債發行限度ヲ増加スルニ必要ガアリマス、以上説明致シマシタ各種法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

〔男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム〕
○議長(伯爵松平賴壽君) マダ政府ノ説明ガアリマスカラ御待チテ願ヒマス、小磯拓務大臣

トト致シマシタルニ依リ、現行臺灣事業公債法ノ公債發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマス、次ニ臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、臺灣ニ於ケル官設鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、臺灣官設鐵道用品資金特別會計ニ於ケル歳入歳出モ亦著シク増加致シマシタル結果、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計本來ノ機能ヲ發揮スルコト困難トナルニ至ルノ虞アル狀況ナルニ顧ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ二百萬圓ニ増額致シマスル等ノ必要ガアリマス、次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費鐵道建設及改良費、道路修築改良費、港灣修築改良費、及送電施設費ノ追加額等二億九千五百十餘萬圓中、二億八千六百九十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計ノ現情竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ガ財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシタルニ依リ、現行朝鮮事業公債法ノ公債發行限度ヲ増加スルニ必要ガアリマス、以上説明致シマシタ各種法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
衆議院議長 小山 松壽

〔國務大臣小磯國昭君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小磯國昭君) 只今議題トナリ

マシタ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、臺灣ニ於ケル私設鐵道ニ對シマシテハ、現行法ニ依リマシテ該鐵道營業開始ノ日ヨリ二十年迄ハ補助金ヲ交付シ得ルコトトナツテ居リマス處、現在補助金ノ交付ヲ受ケツ、アル私設鐵道中、近ク其ノ補助期間ノ滿了スルモノガアルノデアリマスガ、右鐵道ハ未ダ其ノ業績豫期ノ如ク擧ラズ、仍テ當分ノ間ハ政府ノ補助金ヲ離シテハ自立シ難イ狀態デアリマス、而モ此ノ鐵道ハ、臺灣ノ地方開發上重要ナル路線デアリ、且國營代行ノ意義ヲ有シマスルノデ、今回本法ニ必要ナル改正ヲ加ヘ、之ガ助成ノ爲必要アル場合ニ於テハ現在ノ補助期間ヲ更ニ五年間延長シ得ルノ途ヲ開カムト致シクデアリマス、尙補助方法ニ付キマシテモ、現下經濟界ノ趨勢ニ鑑ミマシテ適當ノ改正ヲ加フルコトト致シマシタ、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 阪谷男爵

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ此ノ公債法案ニ付テ唯簡單ノ質問デゴザイマスガ、第一、第二ノ時ニ御尋ネシヨウト思フテ、ツイ時機ヲ逸シテシマヒマシタモノデスカラ、併セテ御尋ネスル譯デアリマスガ、今日ハ澤山ナ公債法案ガ御提出ニナツテ居リマス、此ノ元利償還ト云フコトニ付テハ、確タル計算ガ立ツテ居ルノデアラウトハ存ジマスルガ、

念ノ爲ニ一應御確カメ申シテ置キタウゴザイマス

〔政府委員木村正義君演壇ニ登ル〕

○政府委員(木村正義君) 只今阪谷男爵カラ、公債ノ元利償還ニ對スル計畫ノ内容ニ付テ御尋ネアリマシタガ、此ノ公債發行ガ年々非常ナ増加ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ國債償還ノ基金ヲ設ケマシテ、其ノ特別會計ニ於キマシテ之ガ償還ニ對スル計畫ヲ立テ、居ル次第デアリマス、本年度ノ國債元利償還ニ對スル額ハ、私此處デ正確ニ數字ヲ覺エテ居リマセヌガ、大體八億圓ヲ超エテ居ツトナリヤナイカト思ヒマスケレドモ、正確デアリマセヌカラ、詳細ノコトハ何レ又委員會等ニ於キマシテ詳細御説明申上ゲルコトト致シマス

○男爵阪谷芳郎君 公債ノ元利償還ト申スコトハ、申ス迄モナク極メテ大切ナコトデゴザイマスカラ、明確ナル計算ヲ示サレルヤウニ願ヒタウゴザイマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上リマシタ臺灣事業公債法中改正法律案外三案ハ、關聯スル所ガアリマスルガ故ニ、昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件ノ特別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス、

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十六、要塞地帯法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長一條公債

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

要塞地帯法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十五年三月五日
委員長 公債一條 實孝
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔公債一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公債一條實孝君 只今議題ニ上リマシタ要塞地帯法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ去ル二月二十七日ニ第一回ノ會合ヲ行ヒマシテ、本月一日、二日、四日及ビ五日ノ五日間ニ互リマシテ慎重審議ヲ致シクデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、先ヅ當局カラ改正案ノ趣旨ニ付キマシテ詳細ナル説明ガゴザイマシタ、其ノ内容ヲ申上ゲマスルト、現行法ハ明治三十二年ノ制定公布ニ係リ、大正四年ニ一部改正ヲ致シタルノミデ今日ニ及ンデ居リマスルガ、爾來兵器資材ノ飛躍ノ進歩發達等ニ依リマシテ、要塞ノ戰鬥方式ニ變化ヲ來サシメタコト、又近時各種ノ諜報手段ハ益々巧妙トナリマシテ、要塞ノ戰機保護ハ愈々困難ヲ加ヘテ參ツノデアリマス、故ニ斯クノ如キ情勢ニ對應ス

ル爲ニ、現行法中主トシテ要塞區域ノ擴大、禁止制限事項ノ増補整理、及ビ罰則ノ調整ノ三點ニ付キマシテ改正ヲ致サムトスルモノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ幾多ノ質問應答ガアッタノデアリマスガ、其ノ主ナルモノニ付キマシテ申上ゲマス、第一點ハ、今日ニ於テハ要塞ノ重要性ト云フモノヨリモ、例ヘバ樺太、北朝鮮ノ國境ノ防備其ノ他國防ニ關スル、ヨリ重要ナルモノニ關スル法規ノ制定ガ必要デハナイカ、又昭和八年ニハ字品港域軍事取締法ノ制定ガアリ、昭和十二年ニハ軍機保護法ノ改正ガアリ、又今日ニ於テハ要塞地帯法ノ如ク逐次ニ制定シテ居ルヤウデアアルガ、是等ヲ整理統合シタル法律案ヲ提出スベキデハナイカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ヨリハ、御意見ノ如キ趣意カラ樺太、北朝鮮ニ於キマシテハ昨年國境取締法ガ制定セラレテ居リマス、今回ノ改正案ハ、軍事上ノ必要即チ要塞ノ戰法ノ變化ヲ來シマシタコトカラシテ改正致スノモ一ツノ目的デアリマスガ、主トシテ防諜ヲ目的ト致シテ居ルノデアリマス、而シテ要塞ハ各、其ノ任務ヲ持ツテ居リ、中ニハ昔程ニハ重要度ノ少イモノモアリマスルガ、又一方ニ於キマシテハ、要塞地帯ノ中ニ軍事補給等ノ所謂根基ヲ有スルモノモアリマシテ、其處ヲ外國人ニ諜取セラレマスルト非常ニ國防上ニ缺陷ヲ起ス憂ガアルノデアリマスルカラ、此ノ諜報ヲ防ギタイ、殊ニ此ノ戰爭ノ實行中ニハ防諜ト云フコトハ極メテ必要デアリ

マスノデ、此ノ必要ニ迫ラレテ改正ヲ致ス
 ノデアリマストノ御答ガアリマシタ、次ニ
 國防又ハ軍事ニ關スル法規ノ一元の整備ハ
 目下研究中デアリマスガ、相當影響スル範
 圍ガ廣ク、種々關係方面ノ話合モ必要デア
 リマスノデ、折角研究中デアルト云フ御答
 ガアツクデアリマス、次ニ防禦ヲ主トス
 ル改正ナラバ、外國人ニ對スル禁止制限ニ
 新タナル考案ヲ拂フベキデアルガ、改正案
 ハ之ニ觸レテ居ラナイノハドウ云フ譯デア
 ルカ、又防禦ヲ徹底的ニ行フニハ、軍ト警
 察ト民衆トガシツクリ合ハナケレバナラ
 ス、之ニ對シテハドウ考ヘテ居ルカト云フ
 ヤウナ質問ニ對シマシテ、政府ハ、本改
 正ハ防禦上取敢ズ事變ニ應ズル如キ必要ア
 ルモノダケヲ改正致シタト云フ御答ガアツ
 タノデアリマス、外國人ニ對スル處置ニ付
 キマシテハ、改正案ノ第八條ノ運用ノ如何
 ニ依ツテ目的ハ達セラレレルモノト考ヘル、
 又防禦ニ付キマシテハ、陸軍方面ト内務方
 面ト連絡致シマシテ、軍事警察權ノ行使ニ
 完全ナル協力ヲ致シタイト考ヘテ居ルト云
 フヤウナ御答ガアツタノデアリマス、次ニ要
 塞地帯内ニ於テハ、住民ハ能ク規則等ヲ守ッ
 テ居ルト思フガ、ソレニモ拘ラズ新タニ轉
 嫁罰ノ規定ヲ設クルノハ、法人ノ業務執行者
 又ハ事業主ニ對シテ苛酷デハナイカト云フ
 意味ノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、改正案
 ニ規定シタル所ノ行爲ハ、會社等ノ法人又
 ハ工場、事業場ノ事業主ガ、事業上爲スモ
 ノガ多イノデ、或ハ法人ノ業務執行者又ハ
 事業主ガ、罪ヲ從業者ニ嫁シテ免ル、虞ナシ

トモ言ヘナイ、又改正案ノ制限事項ハ、或
 ハ一般的ニ省令ヲ以テ、又ハ告示ヲ以テ地
 域毎ニ解除スルノデアツテ、小規模ノ工事
 等ハ許可ヲ要シナイカラ、苛酷ニナルコト
 ハナイト思フト云フ答デアツタノデアリマ
 ス、次ニ委員外ノ一議員カラモ發言ヲ求メ
 ラレマシテ、要塞地帯ヲ擴グルノニ、今迄
 ノ「間」ヲ「メートル」ニ改メテ居ルガ、尺貫
 法ガ行ハレテ居ルノニ、人民側ノ方カラハ
 スウ云フ風ニ改正ヲサレテハ不便ニナリハ
 シナイカ、又地帯内ニ編入ノ爲、土地所有
 權ノ完全ナル行使ヲ制限セラル、結果、地
 價ノ値下リ、其ノ他財産上ノ損害ヲ生ズル
 コトガアリ得ルガ、之ニ對スル賠償ノ規定
 ヲ何故ニ定メナカッタカ、尙之ニ付テ他ノ
 立法例トノ關係ハドウデアアルカト云フヤウ
 ナ質問ニ對シマシテ、政府ハ、地帯ハ告示
 ヲ以テ示シ、又地帯ノ區域ヲ示シタ地圖ヲ
 村役場等ニ備付ケ、人民ハ是等ニ依ツテ承
 知スルノデアアルカラ、又尺貫法ヲ「メー
 ル」ニ直シテモ人民ニハ不便ハナイト思
 フ、又賠償ニ付テハ、今回ノ改正ハ戰鬪法
 則及兵器性能ノ變化ニ即應スル爲ニ制限事
 項ニ若干ノ追加ヲ爲シタルニ止マツテ、從
 テ補償ノ規定ニ付テハ現行法ノ主義ヲ其ノ
 儘踏襲シテ、實際特別ニ非常ナル損害ヲ與
 ヘルヤウナ場合ニハ、軍ニ於テ軍用地トシ
 テ買上ゲル積リデアアル、又他ノ立法例トノ
 關係ニ付テハ、此ノ種ノ制限、即チ消極的
 ナ不作爲義務ヲ負擔セシムル公用制限ニ付
 テハ、補償規定ノナイノガ通例デアルト云
 フ御答デアツタノデアリマス、其ノ他色々

ノ質問ガアリマシタガ、ソレ等ハ御手許ニ
 配ラレマシタル速記録ニ依ツテ御承知ヲ願
 ヒタイト存ジマス、討論ニ入りマシテカ
 ラ、數名ノ委員カラ、此ノ法案ニハ贊意ヲ
 表スルガ、斯ウ云フ希望ガアルト云フ希望
 ヲ開陳セラレタノガアリマス、其ノ希望ヲ
 要約致シマスルト、本改正案ハ時局柄緊要
 缺クベカラザルモノト信ズルガ、其ノ目的
 ヲ達成スルニハ防禦思想ノ普及徹底ヲ必要
 トスル、之ガ爲ニハ國民ニ防禦ノ自覺ヲ促
 スヤウニ指導スルノ必要ガアル、又防禦ノ
 徹底ヲ期スルニハ、現在ノ法律ノ部分改正
 デハ煩雜デ且矛盾ヲ生ジ易イガ故ニ、諸法
 規ヲ整理統合シテ、一ツノ統合法律ノ制定
 ヲ望ム、尙防禦ノ完備ヲ期スルニハ、軍事
 上ノ秘密ニ關スル軍機保護法、要塞地帯法
 等ノ軍事法規ダケデハ不十分デアルカラ、
 外交其ノ他内務行政ノ範圍ニ屬スル防禦ニ
 關シテモ、此ノ際速カニ立法セラレタイト
 云フコト、第三ニハ要塞地帯ノ各區ノ幅員
 ハ擴大セラレテ居ルガ故ニ、之ガ告示ヲ爲
 スニ付テハ慎重ノ考慮ヲ拂ハレタイ、次ニ
 ハ轉嫁罰ノ運用ニ付テハ、事業主ニ苛酷ニ
 ナラスヤウ十分ナル注意ヲ望ムト云フヤウ
 ナ諸點デアリマシタ、討論ヲ終リマシテ採
 決ニ入り、採決ノ結果全會一致ヲ以テ可決
 ニ相成ツタル次第デアリマス、以上御報告
 ヲ終ヘマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ
 ケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第
 二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
 メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
 會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
 議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
 メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會
 ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
 題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通
 リデ御異議ハゴザイマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
 メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會
 ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通
 リデ御異議ハゴザイマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
 メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十七、獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長保科子爵

獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案 右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月四日

委員長 子爵保科 正昭

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(子爵保科正昭君演壇ニ登ル)

○子爵保科正昭君 只今議題トナリマシタ 獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本法律案ハ家畜傳染病豫防法中改正法律案ノ特別委員會ニ併託ニナツタモノデゴザイマスガ、委員會ハ去ル三月ノ一日及ビ三月四日ノ兩日ニ互ツテ開カレマシタ、先ヅ農林大臣ヨリ提案ノ理由ノ説明ガゴザイマシタ、本法律案ノ要旨ヲ大體申上ゲマス、事變ニ伴ヒ應召其ノ他ノ理由ニ依リマシテ、内地ニ於ケル獸醫師ガ著シク不足ヲ告ゲテ參リマシタ爲ニ、政府ハ一面ニ於キマシテ高等農林學校ニ於ケル獸醫師ノ養成施設ノ擴充ヲ行ヒマシタガ、尙之ヲ以テ致シテモ獸醫師ノ當面ノ不足ヲ補フニ足リマセヌ、此ノ事態ヲ此ノ儘放任致シテ置キマスルナラバ、銃後ニ於ケル軍馬資源ノ確保、畜産生産力擴充計畫等ノ上ニ甚ダシキ齟齬ヲ來ス虞ガアリマスノデ、臨時的措施ト致シマ

シテ、獸醫手ナル制度ヲ設ケマシテ、農學校ニ於テ一定時間以上獸醫學ヲ修メマシタ者ナドニ對シテ免許ヲ與ヘ、是等ノ者ガ市町村畜産組合等ノ團體ノ職員トナル場合ニ於テ、獸醫師法ノ制限ニ拘ラズ、當該團體ノ事業タル家畜ノ疾病ノ診療ヲ爲サシメムトスルノデアリマス、之ニ對シマシテ委員會ニ於キマシテハ、委員並ニ特ニ發言ヲ求メラレマシタ委員外議員ニ於テ種々質疑ガアツタノデゴザイマス、其ノ主ナルモノヲ御紹介申上ゲマス、先ヅ大正十五年ニ獸醫師法ガ制定セラレマシテ、其ノ結果獸醫師タル資格ハ專門學校卒業以上ノ學力アル者ニ限ラル、コトニナツタノデゴザイマスガ、今回ノ特別ニ依リマシテ、農學校卒業程度ノ者モ實質的ニ獸醫師ト同様家畜ノ診療ヲ爲シ得ルコトニナリマス結果、獸醫技術ノ低下ヲ來スコトハナイカトノ質問ニ對シマシテハ、政府ヨリ、獸醫技術ト云フモノニ付テハ、矢張り正規ノ獸醫師ニ標準ヲ置イテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ於テハ、獸醫師法制定ノ精神及ビ方針ヲ變更スル意思ハ少シモナイノデアアルガ、唯時局下ニ於テ、特ニ農村第一線方面ニ於ケル獸醫技術者不足ノ實情ニ鑑ミ、臨時ノ措置トシテ當面ノ問題ダケヲ此ノ度ノ獸醫手ノ制度ヲ以テ充タシテ行カウトスルノデアアテ、其ノ職能等ニ於テモ、正規ノ獸醫師トハ區別ヲ設ケテ取扱フテ行クノデアアルカラ、全體トシテハ獸醫技術ノ低下ヲ見ル心配ハナイ見込デアルトノ答辯デゴザイマシタ、次ニ政府ハ一方ニ於テ專門學校ニ於ケル獸醫科ノ擴充ヲ

行ツテ獸醫師ヲ多數養成ニ努メテ居ルノデアアルガ、其ノ施設ガ完備シタ曉ニハ、ソレデモ尙獸醫師ガ不足ヲスル見込デアアルカ、即チ獸醫手ノ制度ハ、此ノ專門學校ノ充實シナイ間ノ補充ノ爲ノ制度デアアルカ、凡ソ其ノ期間ハドノ位デアアルカト云フ質問ガアリマシタニ付キマシテ、政府ヨリハ、現下ニ致キマス獸醫師ノ需給關係ヲ推算スルト、假令現在ノ專門學校ノ施設ガ擴充セラレマシテモ、尙當分ハ多數ノ獸醫師ガ不足スル見込デアアツテ、之ニ對シマシテノ補ヒトシテ今回ノ獸醫手ノ制度ヲ設ケヨウトスルノデアアテ、農業學校ニ於ケル豫定計畫ハ少ク共十年位ノ期間ヲ必要ト考ヘテ居ルトノ答辯デゴザイマシタ、其ノ他ノ質疑ニ付キマシテハ速記ニ依ツテ何卒御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、以上ノ如キ質疑ヲ重ネ、次イデ討論ニ移リマシテ、一委員ヨリ本法律案ハ時下ニ於キマシテ適切ナモノト認ムルヲ以テ賛意ヲ表シマスガ、之ガ實施ニ當リマシテハ、獸醫師ト獸醫手トノ混同及ビ獸醫技術ノ低下ヲ來スコトノナイヤウ政府ニ於テ留意アリタイ旨ノ希望ガゴザイマシタ、續イテ採決ニ入りマシテ、全會一致ヲ以テ原案通り可決致シマシタ次第デゴザイマス、簡單ナガラ以上御報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵(西大路吉光君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス御異議ガナケレバ、全部ノ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十八、宇品港域軍事取締法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長一條公爵

宇品港域軍事取締法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月五日

委員長 公爵一條 實孝
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(公爵一條實孝君演壇ニ登ル)

○公爵一條實孝君 只今議題ニ上リマシタ宇品港域軍事取締法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ要塞地帯法中改正法律案特別委員會ニ併託致サレタモノノ一ツデアリマス、委員會ハ三月二日カラ四日及五日ノ三日ノ間ニ、他ノ法案ト共ニ此ノ法案ニ付テ審議ヲ致シマシタ、先ヅ當局カラ改正案ノ趣旨ニ付テ御説明ガアリマシタ、其ノ内容ノ大要ヲ申上ゲマスルト、本法ハ昭和八年三月制定セラレタルモノデアリマシテ、本法ニ依リマシテ、今次事變ニ於テ數次ノ上陸作戰、或ハ大陸ニ向フ兵團ノ頻繁ナル移動又ハ兵力ノ轉用等ニ伴フ船舶輸送業務ノ實施ニ當リ、多大ノ貢獻アリマシタルコトハ明カナ所デアリマス、然ルニ今次事變ニ於ケル船舶輸送ニ關スル幾多ノ經驗、就中、今次事變ノミナラズ將來戰ニ於テ豫想セラレマスル輸送兵員資材ノ著シキ増加、特ニ最近活

潑ノ度ヲ加ヘテ參リマシタル外國ノ對日課者ノ活動等ニ鑑ミマスル時ハ、速カニ現行法ニ所要ノ改正ヲ加ヘマシテ、今後ノ大陸ニ對スル兵團ノ輸送、特ニ將來戰ノ遂行ニ支障ナカラシムルノ要ナルモノヲ痛感スルノデアリマシテ、其ノ改正ノ第一ハ、厖大ナル數量ニ上ル輸送船舶ノ碇泊、出入ニ應ズル港域擴大ノ措置デアリマス、即チ現在ノ宇品港域ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、又新タニ北九州ノ伊萬里灣ニ本法ヲ適用セムトスルモノデアリマス、第二ハ、外國諜者ニ對スル防諜措置ノ徹底デアリマス、即チ現行法ニ定ムル區域ノ範圍ヲ以テ致シマシテハ、外國諜者ノ海運地ニ對スル目視偵察、寫眞偵察等ニ對シ十分ナル秘密ガ保テマセヌノデ、是等ノ行爲ヲ絕對ニ遮斷シ得ル如ク地域ヲ擴大スルノデアリマス、第三ハ禁止制限事項ニ付キマシテ、軍事輸送出發基地ノ輸送業務ニ支障ナカラシムル爲、若干ノ事項、特ニ海面ニ關スルモノニ付、増補改正ヲ致シマス、第四ハ、罰則ニ所要ノ改正ヲ加ヘマスルト共ニ、轉嫁罰ノ必要ヲ感ジマシテ、之ヲ新タニ規定致シタルデアリマス、以上ガ改正案ノ要旨デゴザイマス、委員會ニ於キマスル質問應答ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、宇品モ伊萬里モ共ニ、要塞地帯ノ區域ヲ少シ擴ゲタナラバ其ノ方ニ入ルノデヤナイカ、然ラバ要塞地帯法ニ依ツテ措置シ得ルヤウニ出來ルノデアル、斯ウスレバ宇品ヤ伊萬里ガ陸軍ノ輸送港ノ重點デアルト云フヤウナコトヲ部外ニ知ラサズニ濟ムデヤナイカ、ト云フヤウナ質問ニ對シ

マシテ、政府ハ、宇品ニハ重要塞、伊萬里ニハ長崎重要塞ノ第三區又ハ區外ノ區域ガ一部入リテ居リマスルガ、要塞地帯法ハ、第一區カラ第三區、區外ノ區域ト、其ノ區域ニ從ヒ禁止制限ノ度ヲ弱メテ居リマシテ、軍事輸送ヲ確保スルニハ、宇品ヲ第一區トスルコトヲ要スルノデアリマスルガ、宇品ハ之ヲ第一區トスルコトガ出來マセヌ、ノミナラズ要塞地帯法ハ、要塞戰備ト防諜ガ目的デ、其ノ制限ハ主トシテ陸上デアリ、本法ハ、船舶輸送ト防諜トガ目的デ、其ノ制限ハ海上ヲ主トスルノデアリマス、又要塞ハ要塞司令官ガ管轄シ、宇品ハ陸軍運輸部長ガ管轄致シテ居リマスノデ、要塞地帯法ノ外ニ本法制定ノ必要ガアルトノ御答辯ガアリマシタ、次ニ陸軍デ船舶輸送ヲスル港ハ宇品ノ外マダ澤山アルト思フガ、本法ヲ適用スル港ハ、宇品ト伊萬里ダケデ足ルノデアルカ、若シ將來本法ヲ適用スル必要ガアルトスレバドウスルノカト云フ御質問ニ對シマシテ、只今ノ所宇品港ト伊萬里灣以外ノ港ニ付テハ本法ヲ適用セムトスル考ハナイ、萬一其ノ他ノ港ニ本法ヲ適用ヲ必要トスルトキハ、本法ノ改正ヲ致ス積リデアリマストノ御答ガアツタノデゴザイマス、尙其ノ他ノ質問ガゴザイマシタガ、是等ハ速記録ニ讓リマス、斯クテ質問ヲ終リマシテ、討論ニ入リマシテ、數名ノ委員カラ、此ノ時局柄緊急缺クベカラザルモノデアラカラ贊意ヲ表スルト云フコトヲ述ベラレマシテ、更ニ本法ノ運用、特ニ轉嫁罰ノ運用ニ付テハ慎重ナル注意ヲ望ムト云フ御意見

ガアリマシタ、討論ヲ終リマシテ採決ニ入リ、全會一致ヲ以テ可決ニ相成ツタル次第デゴザイマス、以上御報告ヲ終ヘマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會
ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス、次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報
ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散
會致シマス

午後零時六分散會

貴族院議事速記録第十六號正誤

頁 段行 誤 正
一五七 二二 ナカッタ アッタ
一六〇 八 大正十七年 大正七年